準を見直すべきではないか。 あると考えるがどうか。 浚渫を早期に実施する必要が 図るために、 さらには、忍川の容量拡大を を迅速化するよう水門開扉基 る。そこで武蔵水路取水停止 は抜本的な方策が必要であ 水害も向町で特にひどかっ ほぼ同一の地域に集中してお た。住民の不安を取り除くに 今夏の台風6号による浸 可道断面確保の

親水機能を取り入れた河道整 ができるよう要望している。 へ水位基準の見直しを要望 事務所や武蔵水路連絡協議会 と考えており、 ので引き続き強く要望したい。 しかし、未改善となっている し、一刻も早い取水停止要請 浚渫など、多自然型工法や (修や堤防のかさ上げ、川底 忍川は昭和55年から護岸の 取水停止の迅速化は必要 行田県土整備

忍川の流れ

場を含めて市内7ヵ所に排水

現在整備中の緑町排水機

機場を整備している。さらに、

流域貯留浸透事業として小・

校庭に貯留浸透機能を持たせ 中学校・高校合わせて11校の

た雨水流出抑制に取り組んで

所に浚渫を要望したい。 れ 0) 備 るのでこちらも県土整備事務 による川床の上昇が見受けら .る。貯留断面を阻害してい を進めているが、 堆積やマコモやヨシの繁殖 ヘドロ

## 内 水 対 策 氾 を 濫 0

水害対策

松 本 安 21 夫

響を反映した洪水ハザードマ 想定する雨量とはどのくらい 内水氾濫が起こる可能性は高 年ゲリラ的に発生する集中豪 ップの作成は考えているのか。 なのか。また、内水氾濫の影 雨が多くなっており、 た内水氾濫の水害である。 水排除が限界に達して起こっ Ш たと聞いている。これらは河 市問 い。出水対策の状況とともに の氾濫によるものでなく雨 内8ヵ所で出水被害があっ **7**月 19 H の集中豪雨では 今後も 近

> ることを目標としている。 ミリ程度の雨量は安全に流せ 置づけられている時間雨量50 については河川整備計画で位 いるところである。想定雨量

のと考えている。 急時の避難等で活用できるも 存の洪水ハザードマップは緊 ことから考えていないが、既 により内水排除が強化される については武蔵水路改築事業 映したハザードマップの作成 また、内水氾濫の影響を反

## セカンドブック事 必要か 業が

実を図りたい。

校

三 宅 盾 子

(まちを住みよくする会)

学

書活動 ある。 るように環境整備することで 市が計画の) 書整備員を配置すべきではな 費を充実させ、 心のある本をそれぞれが読 役割とは子どもたちが興味関 どもによって異なる。公共の 成長するにつれ本の選択も子 プレゼントすることなのか。 事業として子どもたちに本を 『面はその役割を果たせる図 行政の役割とは、 学校図書館の図書購入 の援助となる司書や セカンドブック 児童生徒の読 (今後

> ジにあわせた効果的な取り組 みを進め読書環境の更なる充 る。子供たちのライフステー 小学校を中心に図書ボランテ 校図書館の整備については、 のステップとしてセカンドブ にあると考えるがどうか。 配るのではなく読書環境整備 は、税金を使って個人に本を ィアを整備する学校も多数あ ック事業は有意義である。学 ブックスタート事業の次 今求められていること

を通して子どもたちと本に親 しむ関係づくりに努めている。 んと配置すべきではないか。 市として、図書整備員をきち ボランティアで図書整理 ボランティアではなくて、

犯 電球 防 犯 化につい 灯 0 L E 7 D

柿 沼 (黎明21) 貴 志

防

る。 が大きすぎることが挙げられ その理由として自治会の負担 幅な移行には繋がっていない。 推奨情報を提供しているが大 ED電球へ移行させるための 問 本市も防犯灯や街灯を

> な本市の考え方とは。 電球への移行に関する長期的 のか。また、防犯灯の 補助額はどの程度増額される D防犯灯の新規設置に対する に送付された通知には補助金 増額検討が明記されていた。 7月に市から自治会長あて 市で検討しているLE L E D

補助額に自治会の負担増分と のである。 式を2万円にしようとするも 式を2万5000円に、 なる1万円を上乗せし、 対象とすることとし、現行の はLED防犯灯の新設のみを 防犯灯設置に対する 共架 独立 補助

替えるための補助を予定して 平成26年度末までには既存の 平成23年度からLED防犯灯 るよう情報提供を行いたい。 いることから導入に取り組め 及び管理を各自治会が行って いる。本市では防犯灯の設置 防犯灯6000灯全てを入れ に限定した新設補助を行い 長期的な考え方としては、

都市整備 整備につい 都 市 基盤 Ø) 7

(しんりょく会) 高 橋 弘 行